

for Windows 2000/XP/Vista/7

\*\*\*\*\*

TEN-100専用 点字印刷ソフト

# 「TENプリント」使用説明書

\*\*\*\*\*

この度は「TENプリント」をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

このソフトは、弊社の点字プリンタ「TEN-100」専用の印刷ソフトです。  
設定は出力ポートを選ぶだけです。あとはファイルを選んですぐに印刷できます。

## 特徴

- ・使用するプリンタがTEN-100に限定されているため設定が簡単です。  
利用可能なポートをソフトが探しますので、  
その中からTEN-100を接続したポート（COM番号）を選びます。  
通信条件の設定は不要です。
- ・行間隔を自動で切り替えます。  
1頁が18、22、24、35行の場合は、  
行間隔を自動的に変えて用紙の中に収まるようにします。  
また、1頁が18行の時は自動的に両面印刷になります。
- ・キーボードで全て操作できます。  
マウスを使わなくても使用できます。  
操作を補助する音声データをクリップボードに出力します。

## ○印刷できるファイル形式は次のものです。

- \*.BSE B A S E、Tエディタ、ういんぴーなどで作成されたもの、  
および、他の点訳ソフトで「BSE」形式で保存されたものです。
- \*.BES Win-BES 99、点字編集システムで作成されたものです。  
ただし、図形は「点」で描かれたもののみ印刷可能です。
- \*.EDL 図形点訳ソフト「エーデル」で作成されたものです。

## ○出力先は、USB接続の仮想ポートを含む、シリアルポートです。

通信条件は、TEN-100に合わせて下記のようにしております。  
変更はできません。

- ・送信速度 9600 ビット/秒
- ・データビット 8ビット
- ・パリティ なし
- ・ストップビット 1ビット
- ・フロー制御 Xon/Xoff（ソフトウェアフロー）

〒194-0023 東京都町田市旭町3丁目14-3  
有限会社 レンテック  
<http://www.lentek.co.jp/>

Copyright(C) 2009 LENTEK Corporation

## 目次

1	インストール	2 頁
1.1	TENプリント	
1.2	.NetFrameWork2.0	
2	使用方法	3 頁
2.1	起動	
2.2	出力ポート	
2.3	ファイル	4 頁
2.3.1	開く	
2.3.2	再開	
2.4	範囲	
2.4.1	開始頁	
2.4.2	終了頁	
2.5	部数	
2.6	印刷	
2.7	終了	
2.8	ショートカットキー	5 頁

\*\*\*\*\*

## 1 インストール

### 1.1 TENプリント



入手されたTenPrintXX.exe (XX はバージョン番号) を実行してください。  
「スタート」－「ファイル名を指定して実行」でTenPrintXX.exeを指定し  
「OK」ボタンを押すか、  
または、エクスプローラでTenPrintXX.exeをダブルクリックします。  
標準設定では(C : )¥ProgramFiles¥LENTEK¥TenPrint¥にTenPrint.exeが  
インストールされ、デスクトップに「TENプリント」のアイコンが作成されます。

\* アンインストールするには、「コントロール パネル」－「プログラムの追加と削除」から  
「TENプリント」を選んで削除を実行してください。

### 1.2 .NET Framework 2.0 (ドットネット・フレームワーク 2.0)

「TENプリント」を実行するには.NET Framework 2.0が必要です。  
Windows Vista以降では既にインストールされていますので不要ですが、  
Windows 2000、XPでは、未だインストールされていない場合があります。  
コントロールパネル内の「プログラムの追加と削除」で確認してください。

インストールされていない場合は、「TENプリント」を実行しようとする  
.NET Frameworkが必要な旨のダイアログが表示されます。  
その場合は、マイクロソフト社のホームページなどから  
.NET Framework 2.0 (x86)を入手します。  
ファイル名はdotnetfx.exeです。ファイルサイズは約22 MB (メガバイト) あります。  
このファイルを「ファイル名を指定して実行する」で実行するか、  
エクスプローラでファイル名をダブルクリックすればインストールが始まります。

インストールには、ハードディスクの空き容量は 280 MB以上、  
ソフトはWindows Installer 3.1 以降とInternet Explorer 5.01 以降が必要です。

尚、パソコンによっては、インストールに1時間以上の時間が掛かる場合があります。  
時間に余裕を持って作業を進めてください。

\* マイクロソフト社の.NET Framework Version 2.0ダウンロードのページ  
<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=0856EACB-4362-4B0D-8EDD-AAB15C5E04F5&displaylang=ja>

## 2 使用方法

### 2.1 起動



デスクトップ上の「TENプリント」のアイコンをダブルクリック、または、アイコンを選んでEnterキーを押すと、「TENプリント」が起動します。



### 2.2 出力ポート

TEN-100を接続している出力ポート(COM番号)をコンボボックスから選びます。キー入力はできません。

「出力ポート」のコンボボックスをクリックすると、利用可能なポート名の一覧が表示されますので、その中からTEN-100を接続したポートを選びます。

ポート名の一覧は、プルダウン表示する毎に、利用可能なポートを検索し、更新しています。

ポート名は、選んだ時にパソコンに保存され、次回に起動した時は同じ設定になりますので、TEN-100の接続を変えなければ、起動毎に設定する必要はありません。しかし、保存されるのは選んだポート名だけで、全ては保存されていませんので、変更する場合は、ポート名の一覧を表示する操作を改めて行ってください。

USBケーブルで接続する場合は、TEN-100の電源を切った場合と入れた場合のポートの一覧の変化で、接続しているポート名を調べてください。尚、ポート名はパソコンのUSBコネクタの位置でも変わりますのでご注意ください。

また、USBケーブルで接続する場合は、ポート名の一覧にポート名が表示されても印刷の時に「出力ポートが開けません」という警告が出る場合があります。その時は、「TENプリント」はそのまま、TEN-100の電源を入れ直すか、USBケーブルを抜き差ししてください。そして、その後、改めて印刷指示をしてください。

\* ユーザーアカウント制御 (UAC : User Account Control) の設定によりポート名が記憶されない場合があります。その場合は、インストール先フォルダを (C : )¥ProgramFiles¥の下を避けて、(C : )¥TenPrint¥などに変更してください。

## 2.3 ファイル

### 2.3.1 開く

印刷するファイル名は、ファイル名欄に直接キーボードから入力できません。「開く」ボタンを押すと、「ファイルを開く」のダイアログが開きます。ファイル名のエディットボックスにファイル名を入力するか、ファイルリストからファイルを選び、「開く」ボタンを押すと「TENプリント」に読み込まれます。

選べるファイルの種類は、拡張子がBSE、BES、EDLのファイルです。初めは全ての拡張子が選ばれていますが、ファイル名のエディットボックスの下の「ファイルの種類」のコンボボックスで、拡張子を選ぶこともできます。尚、拡張子がBESで図形を含むものは、「点」で描かれた部分しか印刷されません。

### 2.3.2 再開

「再開」ボタンを押すと、開いているファイルと同じファイルを再び読み込みます。これは、「TENプリント」でファイルを一度開いた後に、点訳ソフトで変更した場合に、先ず点訳ソフトで上書保存をし、次に「TENプリント」で再開することにより、「TENプリント」内のデータを点訳ソフトと同じものにするものです。

## 2.4 範囲

### 2.4.1 開始頁

印刷開始頁は、数値入力ボックスを数字キー入力または上下矢印キーで変更します。変更可能な値は、ファイルの頁数の範囲内です。

### 2.4.2 終了頁

印刷終了頁は、数値入力ボックスを数字キー入力または上下矢印キーで変更します。変更可能な値は、ファイルの頁数の範囲内です。ただし、終了頁は、開始頁より大きい頁数でなくてはなりません。

## 2.5 部数

印刷部数は、数値入力ボックスを数字キー入力または上下矢印キーで変更します。指定できる値は、1～1000部の範囲内です。

\* TEN-100の内部メモリーは128キロバイトです。  
一回に送信するデータの総頁数は、文章の場合は200頁以下にしてください。  
メモリー容量以上のデータを送信すると、送信は容量が一杯になった時に停止します。  
その後はTEN-100の印刷が進んでメモリーが空いた量だけの送信となり、  
全てのデータの送信が完了するまでパソコンの電源を切ることができなくなります。

## 2.6 印刷

「印刷」ボタンを押すと印刷データが送信されます。

送信が始まると、最下部の左端に緑の丸が表示され、進行状況をプログレスバーが表示します。送信が終わり、緑の丸とプログレスバー内の表示が消えます。

プログレスバーは、頁単位で更新していますので、エーデルデータ(EDL)など、1頁のデータ量が大きいものは、プログレスバーの表示が遅い場合がありますが、緑の丸が表示されていれば送信は行われています。また、TEN-100はデータ受信中は電源ランプを点滅しています。

送信を中断するには、Escキーを押します。中断は頁の区切りで実行されます。

## 2.7 終了

「終了」ボタンを押すか、「TENプリント」のフレーム右上の×マークをマウスでクリックすると、「TENプリント」を終了します。

## 2.8 ショートカットキー

下記のショートカットキーで、マウスを使用しなくても操作できます。  
画面内の括弧で囲まれた文字がショートカットキーになっております。

音声ソフトを使用する時には、操作を補助するデータがクリップボードに出力されていますので、「クリップボードを読み上げる」ように設定してください。

以下の記述で、例えば、**Alt + A**と記している場合は、**Alt**キーとアルファベットの**A**キーを同時に押す操作です。

- ・ **Alt + B** フォーカスを「部数」の数値入力ボックスに移動します。  
数字キー入力または上下矢印キーで変更できます。
- ・ **Alt + C** フォーカスを「出力ポート」のコンボ・ボックスに移動します。  
ポート名の一覧表示は、**Alt**キーと上または下矢印キーを同時に押します。  
変更は、**Alt**キーを押さずに、上下矢印キーで行います。
- ・ **Alt + D** 現在のフォーカスがどこの場所にあるかをクリップボードに出力します。  
ファイル名や数値があれば併せて出力します。
- ・ **Alt + F** 開かれているファイルの「ファイル名」、「1行の文字数」、  
「1頁の行数」、「ファイルの全頁数」、「図形データの有無」を  
クリップボードに出力します。
- ・ **Alt + H** 設定されている印刷範囲の「開始頁」と「終了頁」の設定値を  
クリップボードに出力します。
- ・ **Alt + K** フォーカスを「開始頁」の数値入力ボックスに移動します。  
数字キー入力または上・下矢印キーで変更できます。
- ・ **Alt + S** フォーカスを「終了頁」の数値入力ボックスに移動します。  
数字キー入力または上下矢印キーで変更できます。  
尚、終了頁は開始頁と同じか大きくなくてはなりません。
- ・ **Alt + L** フォーカスを「有限会社レンテック」の文字へ移動します。  
Enterキーでブラウザが起動し、パソコンがインターネットに  
接続されている場合はレンテックのホームページを表示します。
- ・ **Alt + O** フォーカスを「開く」のボタンに移動します。  
Enterキーでファイルを開くダイアログが表示されます。
- ・ **Alt + P** フォーカスを「印刷」のボタンに移動します。  
Enterキーで印刷データの送信が始まります。
- ・ **Alt + Q** フォーカスを「終了」のボタンに移動します。  
Enterキーで「TENプリント」を終了します。
- ・ **Alt + R** フォーカスを「再開」のボタンに移動します。  
Enterキーで開いているファイルと同じ名前のファイルを再び開きます。
- ・ **Alt + V** 「TENプリント」のバージョンをクリップボードに出力します。

\* フォーカスについて

「TENプリント」を起動した直後は、「開く」のボタンにフォーカスがありますので、  
Enterキーで直ぐにファイルが開けます。

フォーカスはTabキーにより、「開く」、「開始頁」、「終了頁」、「部数」、「印刷」、「出力ポート」、  
「有限会社レンテック」、「終了」、「再開」、の順番で移動します。

また、Shift + Tab では、上記の逆の順番で移動します。